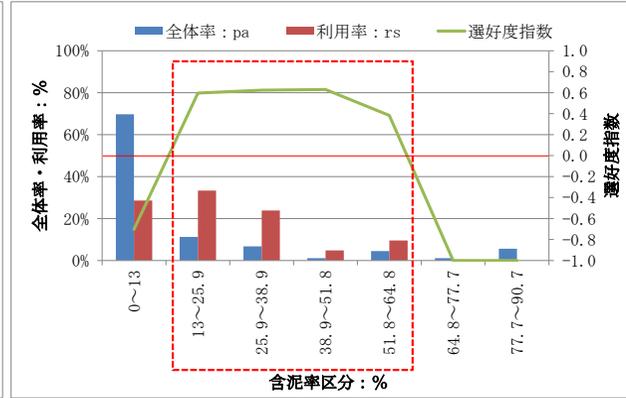
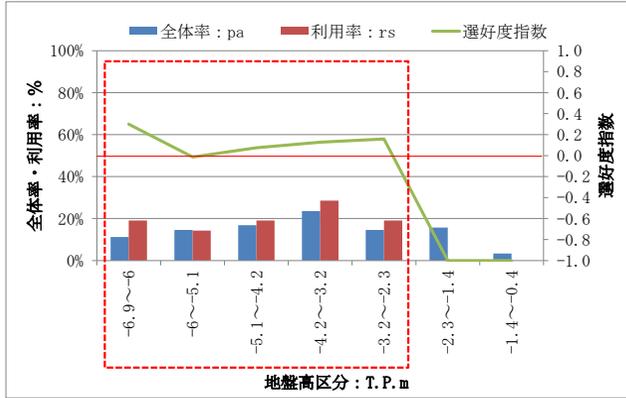


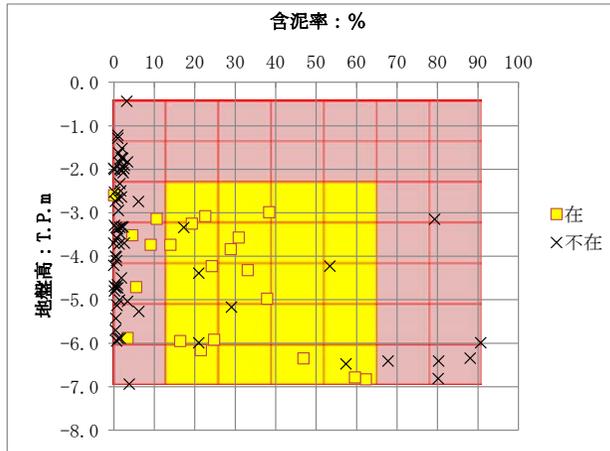
■底生動物のハビタット区分の検討⑥ ～ハビタット区分2と3の指標種のモデル化方法～



■チヨノハナガイの選好度モデル



■選好度モデル



■選好度判定

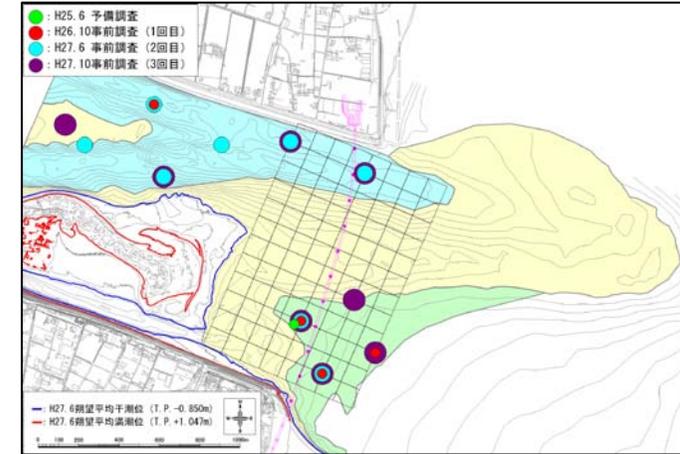
判定	不在	在	合計
選好性無し	62	6	68
選好性有り	6	15	21
合計	68	21	89

■モデル正解率

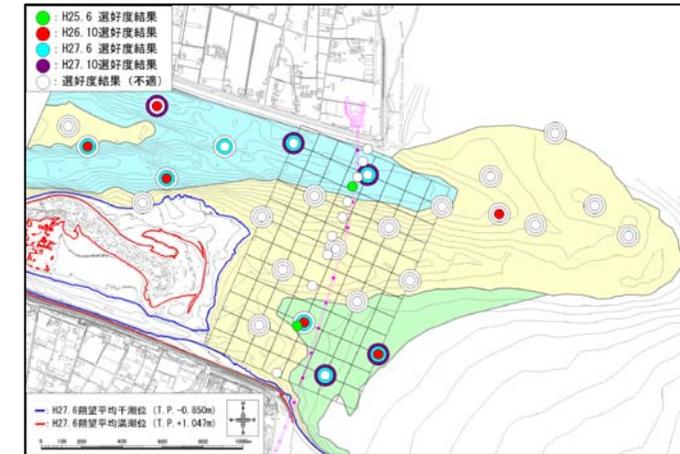
感度	71.4%
特異度	91.2%
正解率	86.5%

- 地盤高: T.P.-6.9m~-2.3m
- 含泥率: 13.0%~64.8%
- 全データ(n=89)に対してモデルを適用すると21箇所が好適性と判定 **※正解率86.5%**

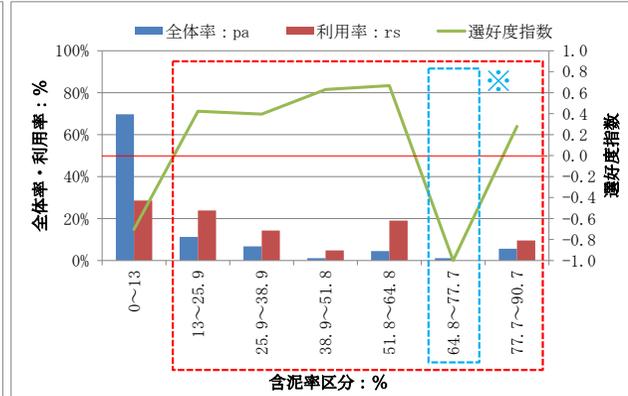
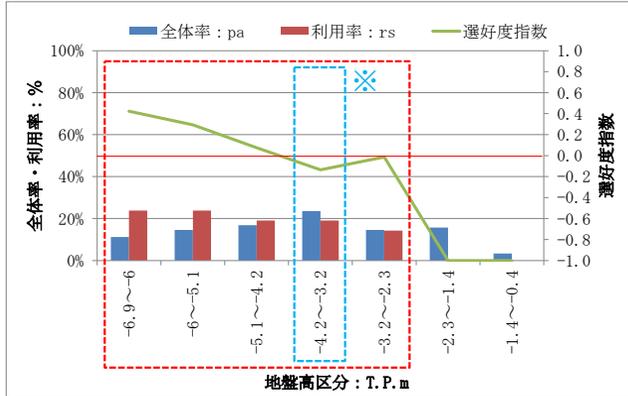
■実際の出現場所



■選好度結果



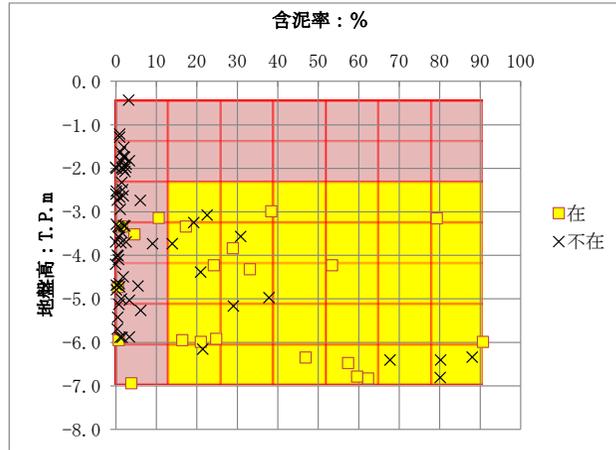
■シノブハネエラスピオの選好度モデル



※ 飛び地をなくすため選好度指数0.0未満の範囲も好適とみなす。



■選好度モデル



■選好度判定

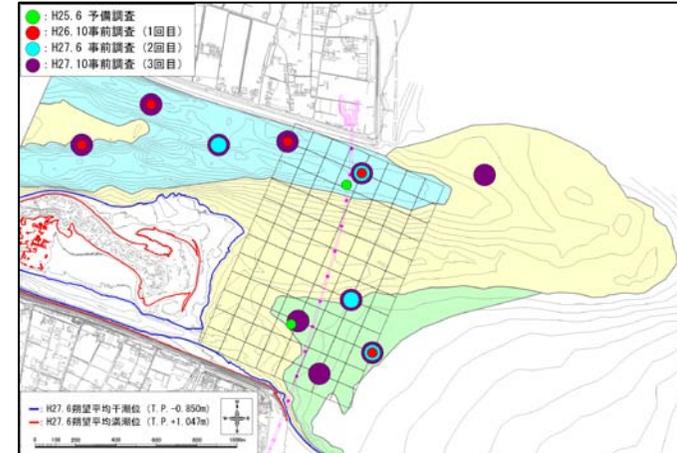
判定	不在	在	合計
選好性無し	56	6	62
選好性有り	12	15	27
合計	68	21	89

■モデル正解率

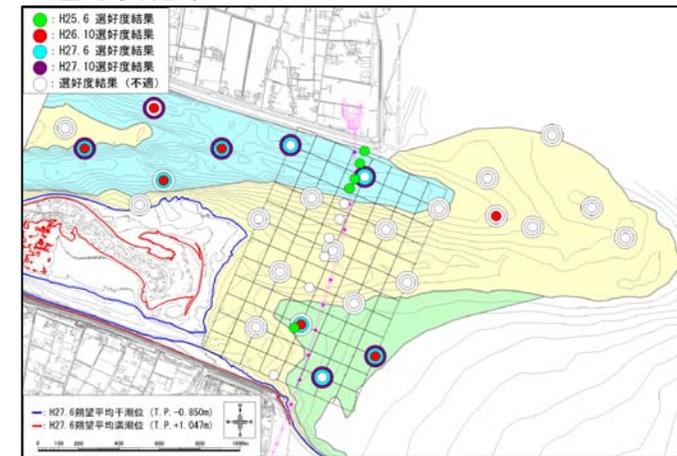
感度	71.4%
特異度	82.4%
正解率	79.8%

- 地盤高：T.P.-6.9m～-2.3m
- 含泥率：13.0%～90.7%
- 全データ(n=89)に対してモデルを適用すると27箇所が好適性と判定 **※正解率79.8%**

■実際の出現場所

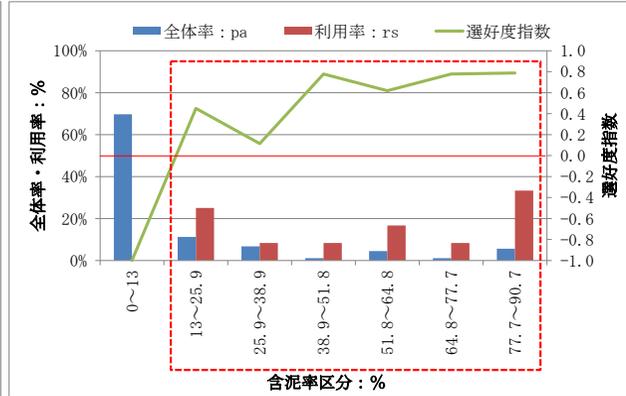
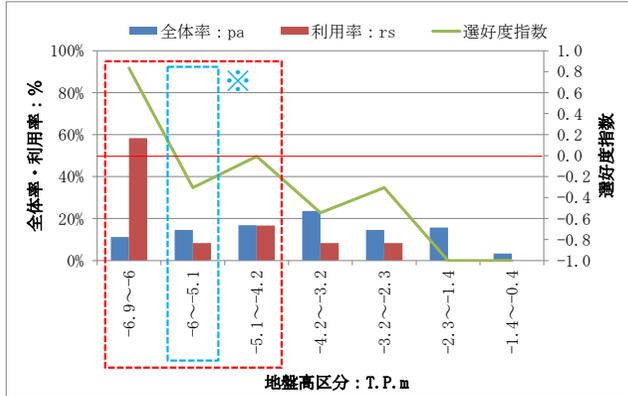


■選好度結果



■底生動物のハビタット区分の検討⑧ ～ハビタット区分2と3の指標種のモデル化方法～

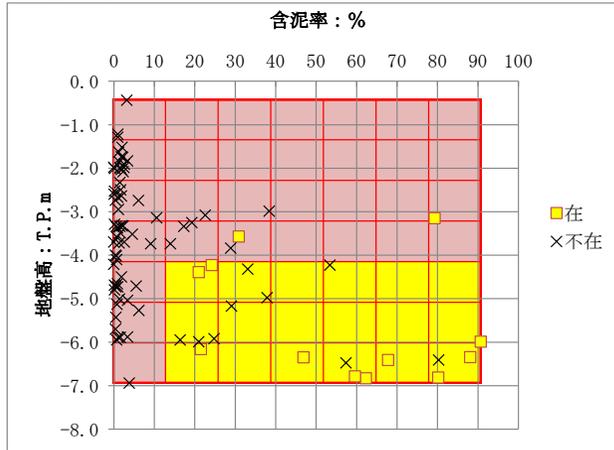
■ハナオカカギゴカイの選好度モデル



※ 飛び地をなくすため選好度指数0.0未満の範囲も好適とみなす。



■選好度モデル



■選好度判定

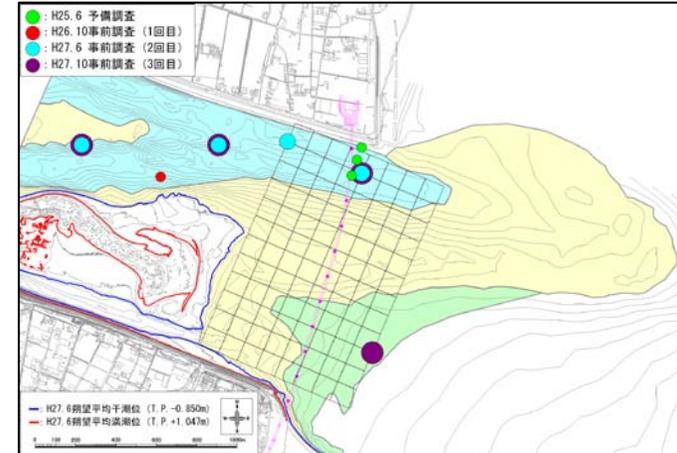
判定	不在	在	合計
選好性無し	68	2	70
選好性有り	9	10	19
合計	77	12	89

■モデル正解率

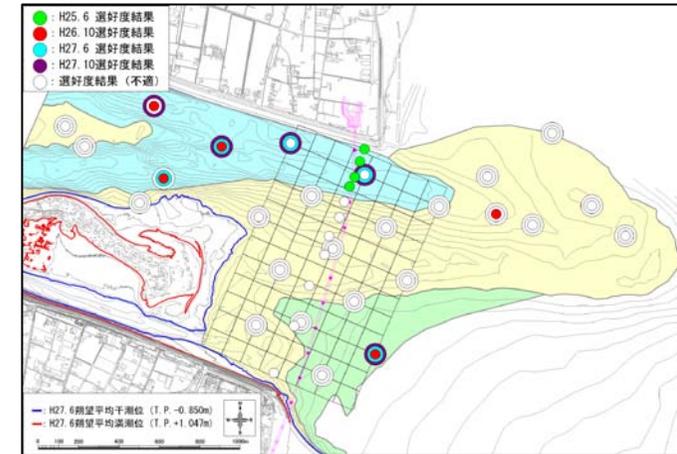
感度	83.3%
特異度	88.3%
正解率	87.6%

- 地盤高: T.P.-6.9m~-4.2m
- 含泥率: 13.0%~90.7%
- 全データ(n=89)に対してモデルを適用すると19箇所が好適性と判定 **※正解率87.6%**

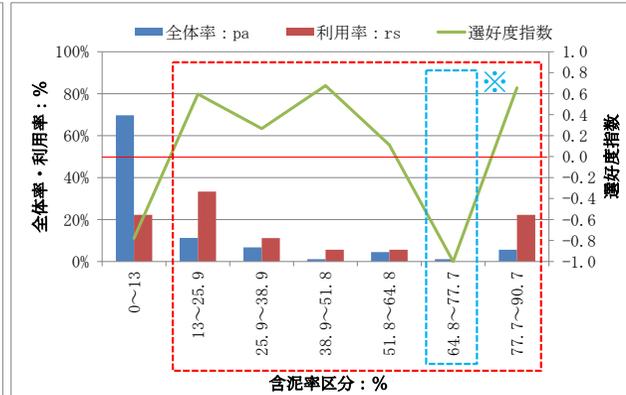
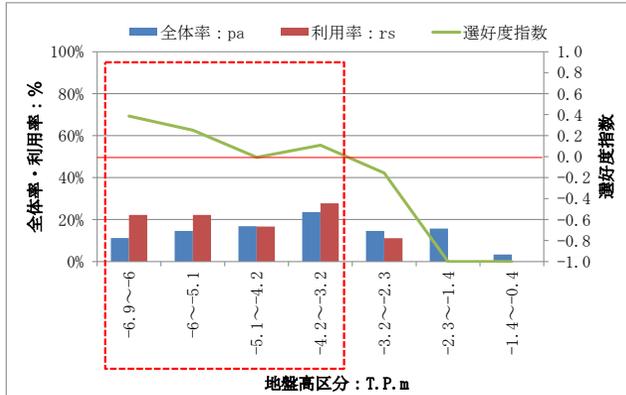
■実際の出現場所



■選好度結果



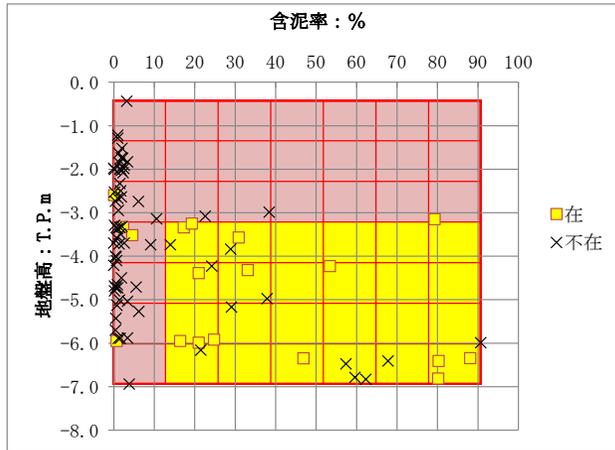
■オウギゴカイの選好度モデル



※ 飛び地をなくすため選好度指数0.0未満の範囲も好適とみなす。



■選好度モデル



■選好度判定

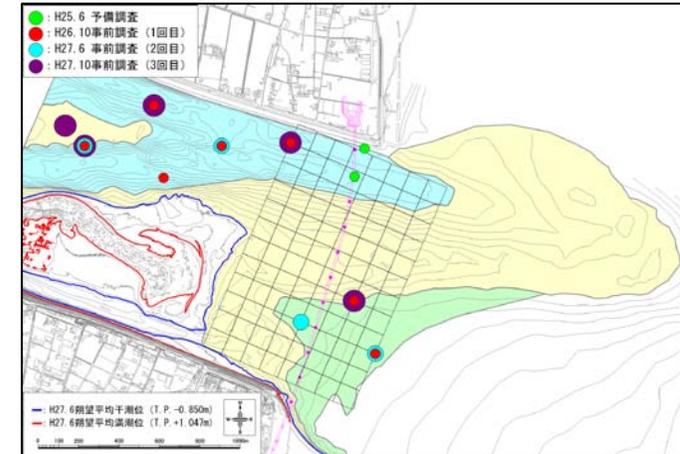
判定	不在	在	合計
選好性無し	60	5	65
選好性有り	11	13	24
合計	71	18	89

■モデル正解率

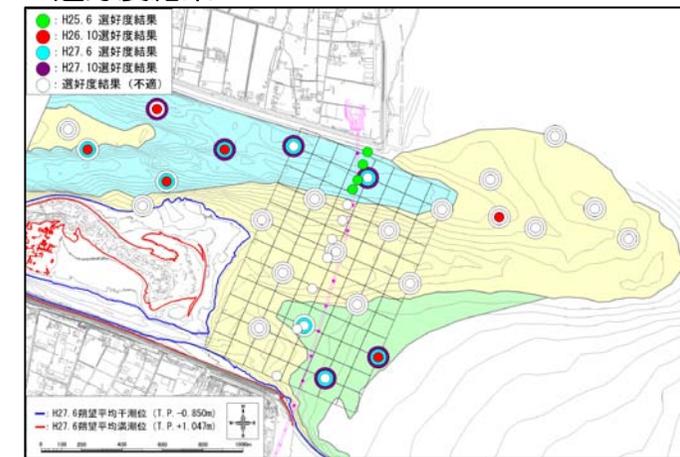
感度	72.2%
特異度	84.5%
正解率	82.0%

- 地盤高：T.P.-6.9m～-3.2m
- 含泥率：13.0%～90.7%
- 全データ(n=89)に対してモデルを適用すると24箇所が好適性と判定 **※正解率82.0%**

■実際の出現場所

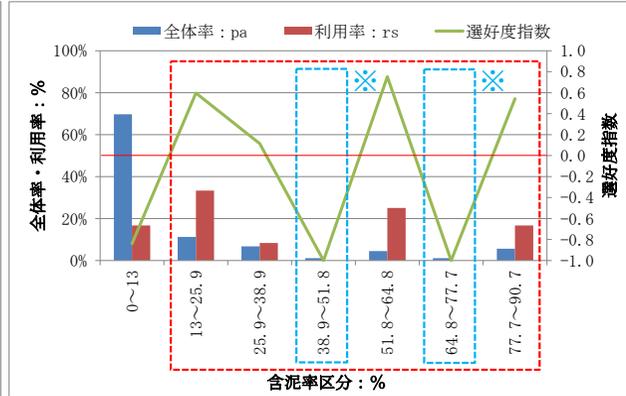
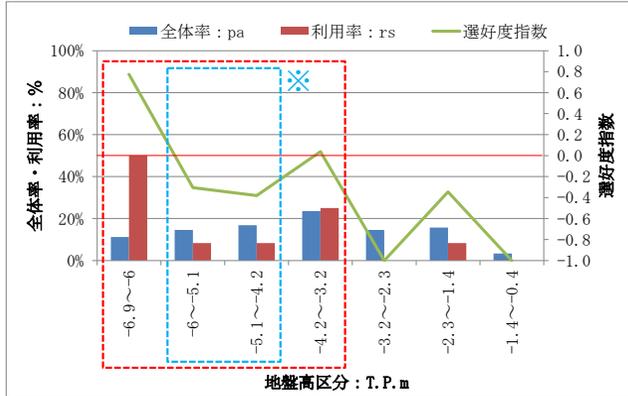


■選好度結果



■底生動物のハビタット区分の検討⑩ ～ハビタット区分2と3の指標種のモデル化方法～

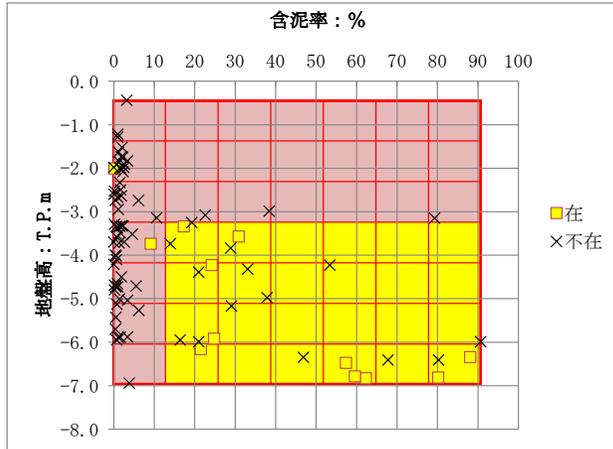
■クビナガスガメの選好度モデル



※ 飛び地をなくすため選好度指数0.0未満の範囲も好適とみなす。



■選好度モデル



■選好度判定

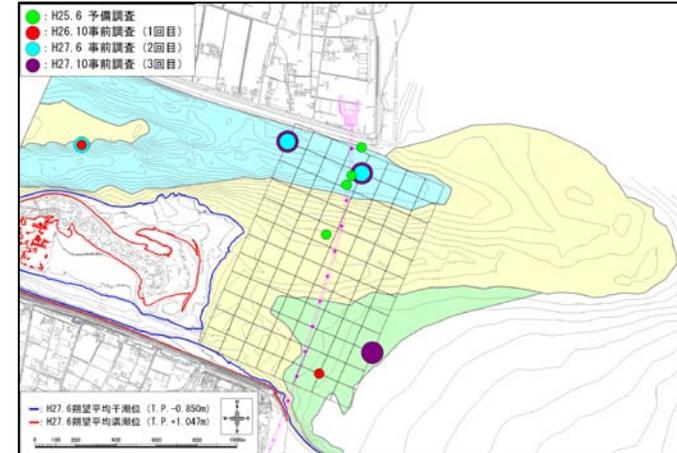
判定	不在	在	合計
選好性無し	63	2	65
選好性有り	14	10	24
合計	77	12	89

■モデル正解率

感度	83.3%
特異度	81.8%
正解率	82.0%

- 地盤高：T.P.-6.9m~-3.2m
- 含泥率：13.0%~90.7%
- 全データ(n=89)に対してモデルを適用すると24箇所が好適性と判定 **※正解率82.0%**

■実際の出現場所



■選好度結果

